



こうなん防災学校

2限目 大雨に備えよう ~警報などの基準は?~

大雨は気象情報などを活用して、事前に災害に備えることができます。大雨の警報・注意報がどのような基準で発表されるかを覚えて、災害が起こる可能性があることを意識しておきましょう。

防災のススメ

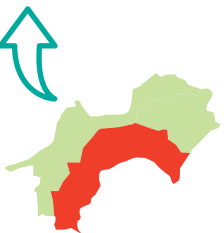
「もしも」に備えを! ⑮

■防災対策課 ☎57-8501



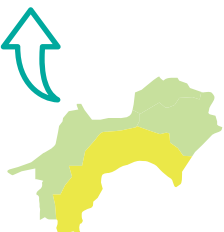
数十年に一度の降雨量となる大雨や台風の恐れがある場合

特別警報



1時間雨量が70mm以上の雨、または降る恐れがある場合

警報



1時間雨量が40mm以上の雨、または降る恐れがある場合

注意報

※時間雨量…1時間に1㎡の広さに降る雨の量を算出したものです

特別警報は、防災行政無線や香南市防災情報配信メール、携帯電話各社の緊急速報メールのほか、テレビ・ラジオ・インターネットなどを通じて伝えられます。状況に応じた情報収集を行い、命を守るため冷静な判断と行動をお願いします!



雨の強さ…気象用語で「非常に激しい雨」滝のように降るイメージで、傘がまったく役に立ちません。

注意報でも場合によってはすぐに避難しないといけません!



▲40mmの雨を体験中



雨の強さ…気象用語で「激しい雨」バケツをひっくり返したように降るイメージで、傘をさしていても濡れます。



平成27年度高知県「南海トラフ地震に備えよう!」啓発ポスター・標語コンクール最優秀賞受賞 有澤清さん(香我美中学校)

行政の取り組みとともに、県民一人ひとりの取り組みが大変重要となる南海トラフ地震対策。高知県では、小中学校生及び特別支援学校生から「南海トラフ地震への備え」についてのポスターや標語を募集し、子どもたちだけでなく、家族や周囲の防災に対する意識の向上を図っています。

このたび、「ポスター部門:中学校の部」で香我美中学校2年の有澤清さんの作品が最優秀賞に選ばれました。ポスターは電車やバス、市町村役場などに掲示され、啓発素材として活用されます。

姉妹都市交流

香南市 八重瀬町

祝 八重瀬町新庁舎落成



- 1 新しい八重瀬町庁舎
- 2 落成式のテープカット。香南市長、議長が立ち会いました
- 3 落成式典で香南市から贈られたタペストリー
- 4 庁舎見学で議場に導入されたシステムを学ぶ市議会議員
- 5 地元の商品を紹介する八重瀬町婦人会
- 6 農産物等をブランド化するために作成されたデザイン
- 7 八重瀬町商工会による研修
- 8 土佐之塔への参拝
- 9 八重瀬町による懇親会

平成27年12月18日(金)から20日(日)にかけて、香南市長と市議会議員19人が香南市と姉妹都市提携を結ぶ沖縄県八重瀬町を訪問し、新庁舎落成式典に出席しました。

落成式典では市長の祝辞に加え、贈呈式も実施。八重瀬町の花木であるヒカンザクラが描かれたタペストリーが市長から八重瀬町の比屋根方次町長に贈られると出席者から歓声が上がっていました。

式典後の庁舎見学では免震構造の説明や、議場に導入した議会運営システムを見学。今後の香南市の庁舎建設に向けた意見が交わされました。

滞在中には、交流のきっかけとなった土佐之塔へも参拝。土佐之塔は太平洋戦争中、沖縄県や南方諸地域で戦没した高知県出身者18,545人が祭られ、昭和41年に建立されています。

また、八重瀬町商工会による研修会も行われ、農産物などのブランド化を推進する「八重瀬町カラフルベジタブルプロジェクト」について、他の商品と差別化できるまでの取り組みと今後の展望について説明を受けました。

このような八重瀬町との交流は、いま、行政だけでなく文

化や教育など、さまざまな分野へと広がりをみせています。

今月21日(日)には八重瀬町で伝承されている獅子舞、棒術、踊りなどを披露する文化交流公演も開催されます。ぜひ皆さんもこの機会に沖縄の文化に触れてください。

今後も姉妹都市としてまごころみで交流していきけるよう、お互いのまちでの取り組みを応援していきます。



文化交流公演「八重瀬の躍動」の詳細は15ページで!